

2006年3月期 第1四半期決算説明会

双日ホールディングス株式会社

2005年7月28日

グループの経営ビジョン

- ◆ 個々の中核事業領域において、収益性・成長性の向上を絶えず追求することにより、それぞれの業界・市場においてトップクラスの競争力と収益力を持つ「事業の複合体」を目指す
- ◆ 環境の変化や市場のグローバル化に対して素早く挑戦し、起業を通じ、常に新しい事業領域の開拓に努める「革新的な商社」を目指す
- ◆ 多様な顧客のニーズを掘り起こし、ビジネスパートナーとして深化したサービスを提供できる「機能型商社」を目指す
- ◆ 社員一人一人に自己実現に挑戦する機会を与える「開かれた事業体」を目指す

2006年3月期 第1四半期決算概要（主なP/L項目）

主なP/L項目

	04/4-6実績	05/4-6実績	増減	06/3期初見通し	進捗率	06/3修正見通し
売上高	12,140億円	11,307億円	△833億円	49,000億円	23.1%	49,000億円
売上総利益 (売上総利益率)	588億円 (4.84%)	556億円 (4.92%)	△32億円 (+0.07%)	2,510億円 (5.12%)	22.2%	2,510億円 (5.12%)
営業利益	153億円	157億円	+4億円	750億円	20.9%	780億円
経常利益 (経常利益率)	139億円 (1.14%)	208億円 (1.84%)	+69億円 (+0.70%)	650億円 (1.32%)	32.0%	740億円 (1.51%)
当期純利益	98億円	184億円	+86億円	350億円	52.6%	380億円

経常利益は持分法適用会社の好調、金利収支の改善等で大幅増益
 期間収益力は着実に向上しており、期初見通しを上方修正

2006年3月期 第1四半期決算概要（主なB/S項目）

主なB/S項目

	05/3末実績	05/6末実績	増減	06/3末期初見通し	06/3末修正見通し
総資産	24,485億円	23,893億円	△592億円	25,350億円	25,380億円
株主資本	2,802億円	3,110億円	+308億円	3,150億円	3,180億円
ネット 有利子負債	10,023億円	10,214億円	+191億円	10,500億円	10,500億円
ネットDER	3.6倍	3.3倍	△0.3倍	3.3倍	3.3倍

大幅改善となった期間収益の積上げにより株主資本が増加、ネットDERは3.3倍に

事業セグメント別売上総利益

(単位:億円)

	04/4-6 実績	05/4-6 実績	増減	主な増減要因
機械・宇宙航空	99	99	0	低採算事業からの撤退等による減少はあるも、中南米自動車・船舶事業の好調により前年並みを確保
エネルギー・金属資源	82	100	18	石油・ガス、石炭、合金鉄など資源関連での取扱量増加・市況高値安定、新規連結により大幅増益
化学品・合成樹脂	109	109	0	化学品は石油・ナフサ価格高を反映し、全般的に高い好調、一方、肥料の原料コスト高による減益があり、全体としては横ばい
建設・木材	75	47	△28	建設はマンション事業等が好調に推移するも、前年同期の一過性取引の影響で減益、木材は市況の低迷が続いていることから減益
生活産業 (除くなか卯)	120 (95)	96 (96)	△24 (1)	なか卯の持分法適用会社化の影響により減少したが、その影響を除外すると、シンガポール社の新規連結寄与もあり前年同期並みを確保
海外現地法人	57	66	9	アジアでの化学品・合成樹脂の好調、米州でのプリンタ、ナイキ、金属資源取引などの好調等により、全体としても増益
その他	46	39	△7	旧本社ビル売却による家賃収入減など
合計 (除くなか卯)	588 (563)	556 (556)	△32 (△7)	

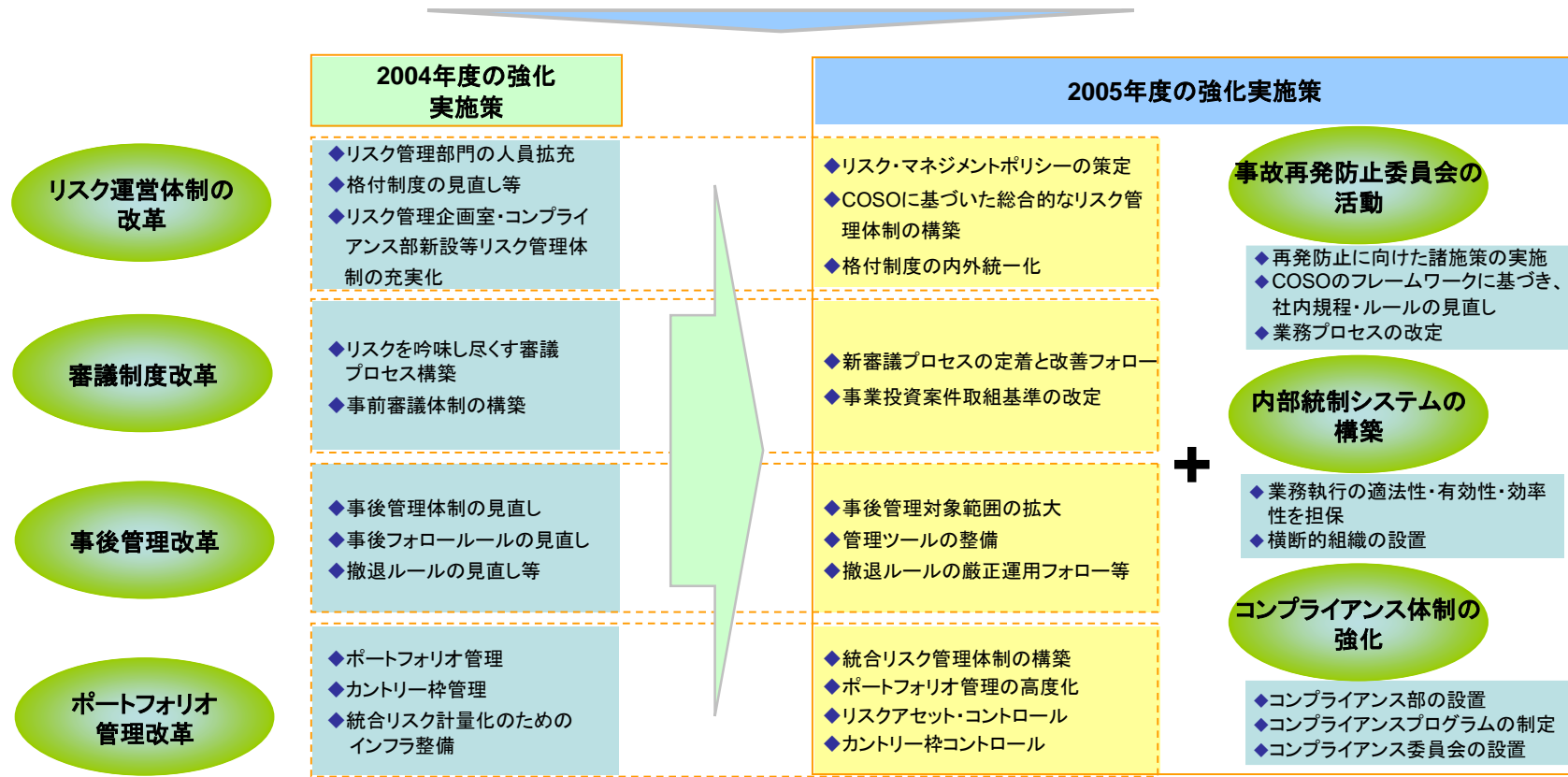
事業セグメント別経常利益

(単位:億円)

	04/4-6 実績	05/4-6 実績	増減	06/3期初 見通し	進捗率	足元の状況など	06/3修正 見通し
機械・宇宙航空	21	29	8	95	31%	中南米自動車事業好調、船舶事業も堅調な備船市況を背景に好調を持続しており、期初見通しを上回る	100
エネルギー・ 金属資源	54	67	13	190	35%	石油・ガス、石炭、合金鉄、メタルワンが好調。期初見通しを上回る	205
化学品・ 合成樹脂	20	29	9	60	48%	化学品・メタノールの好調により高い進捗率となっており、下期以降メタノール価格の下落を見込むも、期初見通しを上回る	65
建設・木材	20	13	△7	90	14%	建設はマンション事業等が好調に推移しており、木材が市況低迷により期初見通しを下回るものの、全体ではほぼ見通し通り	90
生活産業	19	14	△5	90	16%	市況低迷の影響等により前年同期比減益となるも、秋冬物衣料、寝装品、水産物等下期偏重型商いが多く、ほぼ見通し通りに推移	90
海外現地法人	27	33	6	140	24%	アジアは好調、米州、欧州は順調で、全体として期初見通しを上回る	145
その他	△22	23	45	△15	—	投資育成事業のキャピタルゲインなどが寄与し増益	45
合計	139	208	69	650	32%		740

リスク管理の強化・高度化

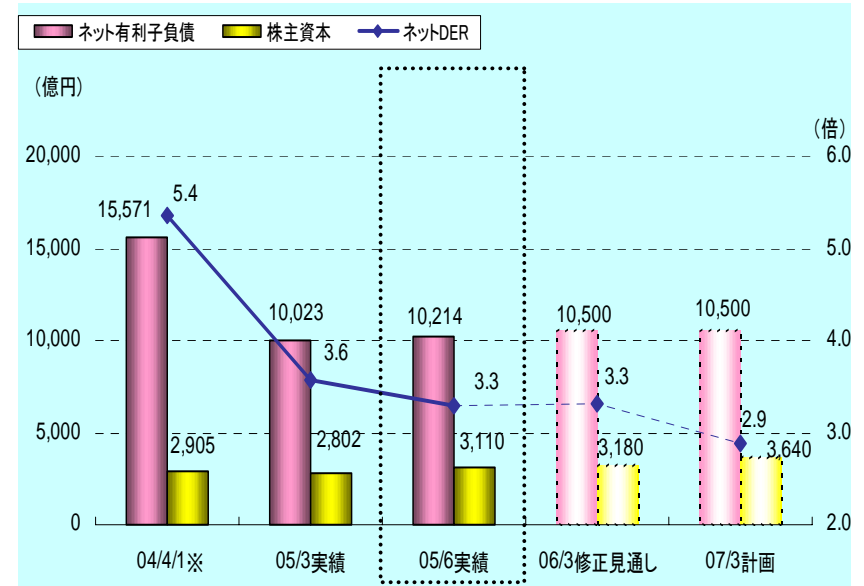
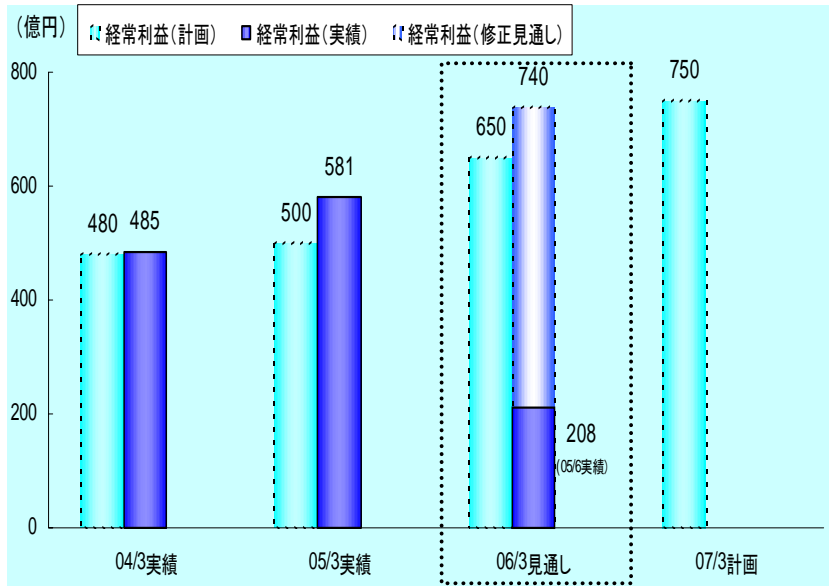
リスク管理体制の見直し改革を推進し、総合的なリスク管理体制の強化・高度化を目指す
 資産健全化処理により改善された資産の質を維持・向上させる



内部統制体制の構築と総合的なリスク管理体制を整備し、損失を低水準に抑える仕組みを確立

財務目標(進捗状況)

06/3期の経常利益見通しを上方修正、最終年度(07/3期)目標達成は確実に



新事業計画 最終年度(07/3期)の財務目標実現へ

経常利益 : 750億円

ネットDER : 3倍程度
(ネット有利子負債 1兆円水準)

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。